

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	岩崎 邦男
	全体計画						経費区分		-		内線	3781
事務事業名	4342 消防施設管理事業											
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署											
施 策	03021400 消防・救急体制の充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	090103 消防費・消防費・消防施設費										
	事業	010000 消防施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
消防施設を適正に維持管理し、災害時の対応に万全を期する						<ul style="list-style-type: none"> ・経年老朽する施設の改修 ・既存施設の活動向上のための改修 ・地上式消火栓の設置及び維持管理 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の設置及び維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設修繕 ・地上式消火栓の設置25基及び維持管理19基
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の設置22基及び維持管理16基 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の解体及び修繕 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓を11基設置 ・地下式消火栓の6基設置及び20基維持管理
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓を2基設置 ・地下式消火栓の13基設置及び6基維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の9基設置 ・地下式消火栓の7基設置及び14基維持管理（予定）

指標名	なし					
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		12,597	19,540
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,597	19,540
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,359.0	4,359.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,359.0	4,359.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.5
総額		16,956.0	23,899.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	892	修繕料(消防庁舎施設・設備814、防火水槽78)
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	10,441	消火栓設置9,060、維持管理費1,381
その他	1,264	借上料282、火の見半鐘打鳴装置購入982

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	950	施設修繕 防火水槽（蓋、内壁）改修
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	17,308	消火栓の設置13,205、維持管理費4,103
その他	1,282	借上料282、備品購入費（半鐘打鳴装置）1,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防水利の整備充実に必要 経年劣化する団詰所・機械器具置場を修繕し、また地上式半鐘打鳴装置を購入し団活動の安全と負担軽減を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地上式消火栓を設置整備することにより視認性・操作性が向上するとともに、自主防災組織での初期消火体制に有効 地上から半鐘を打鳴でき、団員の負担軽減と安全性が向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	水道事業者の工事に併せて消火栓を設置し、コストカットを図る 中長期的な見地から半鐘打鳴装置の継続的設置を検証していく	

振り返り（決算年度の取組み課題）

関係部局との連携維持
 既設の施設を維持管理する
 半鐘打鳴装置設置の方向性検討

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
関係部局との連携を図り、消火栓設置費用のコストカットができた。また、半鐘打鳴装置設置により、消防団員の負担軽減が図られた。		地上式消火栓に変更することにより、維持管理の低減につながる。警鐘楼については、引き続き研究、検討を続ける。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	